

夏期交流集會に 参加して・・・

どんより曇った8月30日、2泊3日でそんなに荷物いる？っていうくらいの荷物を持って美瑛町までドナドナされていった人達。夏期交流集會で学んだこと・感じた事を書いてもらいました。

そもそも、夏期交流集會とは？

夏期交流集會とは、2年に1度全道の単組(たんそ)の仲間達が集まり、自分達の職場の実態等を話し合い交流する集會の事です。交流することで、他単組で実践していることから学び、自分達の単組での活動に繋げていくことを目的としています。今年、8月30日～9月1日まで美瑛町・国立大雪青少年交流の家で開催されました。長万部町職労からも仲間が参加し、他単組の人達と交流してきました。



夏期交流集會でしてきた貴重な体験を、感想文として書いてもらいました。

みんなの感想文を読んで、夏期交流集會についてすこ————しでも理解してもらえればと思います。

←美瑛町・国立大雪青少年交流の家

は
と
し
つ
ん
う

長万部町職労
青年婦人部
第1号
2013・10・3
発行無責任者
ながくぼ のっち

☆三浦 安奈☆

○基調講演○

- ・アベノミクスについてと憲法をどのように改正しようとしているのかを知ることができた。周りが安倍政権に反対しているようだったので、なんとなく自分も反対していたが、今回の講演を聴いて改めて反対だと思った。
- ・マスコミなどが民主党はダメで自民党は良いと思わせるような報道を流しているように、組合では自民党はダメで民主党は良いと思わせるような情報しかないと思う。何が良くて何が悪いのかきちんと自分の意見を持てるようにしたい。
- ・もう少し冷静に講演をしてもらいたかった。バカにするような言葉遣いも気になった。

○分散会○

- ・初めて同じ職種の人と分散会をすることができ、同じ仕事をしている人にしかわからない悩みを話すことができた。
- ・近隣の町には、同じくらいの年の人で同じ仕事をしている人がいないので、中々相談できなくて心細かったが、全道にはたくさん仲間がいるので、これからも頑張ろうと思うことができた。

あいさつをする道本部青年部長・瀧口さん→



☆岡田 幸☆

今回、夏期交初参加です。ですが、森町で行った夏期交の事前学習会のおかげで夏期交がどういったものなのか大まかではあるが知ることができ、仲間の意見を多く持ち込み他単組の意見を聞き、共有しようという気持ちが強くなりました。

1日目のバスでは、隣は梨木君で後ろには門間さん、左後ろには首を直角に曲げて悠々と睡眠を取る三浦さん、前の座席には森町の方々でした。僕は梨木君のスマートフォンを借りてジョジョの奇妙な冒険という漫画を読んでいた。するとあっという間に美瑛に到着。役場で調べたとおり自然に囲まれていてマイナスイオンがたくさんでいていました。

○文化交流○

十勝、上川、石狩の三地本からの構成詩が発表がありました。前回の夏期交に参加した先輩方から話しには聞いていましたが、ホントでした！小学生の劇を思い出し懐かしい感じになりました。実際に合った組合への取り組みを劇にすることで、内容が理解しやすく、演じたキャラが濃いせいもありますがとても印象深いと感じました。青年部復活に向けての活動、健康診断での血液検査を勝ち取るまでなど自分の単組では経験のできない、したことの無いような取り組みで興味を持って見ることができました。

○基調講演○

アベノミクスがどんな不安要素を持っているのか知ることができました。テレビや新聞などでよくアベノミクスという言葉を目にしますが、正直憲法改正の内容も三本の矢がなぜデフレ脱却に向かうのかわかりませんでした。偏った意見を出されていたが、こういった講演を聴く機会はなかなかないと思うので、良い経験になったと思います。二つの基調講演を聴きましたがどちらもマスコミで報道していることが全てではないということが重要で、こういった集会や講演に参加することで報道されていない部分の情報も得て、良い部分、悪い部分を知った上で政治に対する思い、組合活動に持ち出す意見を出していかなければならないと思いました。たくさんの情報を得て、物事の本質を見極め、仲間の意見交流をすることでまた違う意見も持つことができ、物事の課題を見えてくると思います。なので、これからは政治に興味を持ち、たくさんの情報を得られるように努めたいと思います。

○分散会○

同業種の分散会だったので、共感を持って話すことができました。自分の町では行っていないことをしていたり、同じ作業だけど違う方法をとっていたり、同業種だけあって深い部分まで話すことができました。

帰りのバスでは僕の隣に梨木君が座り、前には門間さん、三浦さんが座ってました。梨木君は行きと同様、服の上にゼリー(行きはケチャップ)をこぼしました。施設が研修施設だったので規制が厳しいと思う部分はありませんでしたが、研修施設なので仕方ないのかなと思いました。もう少し開放的な施設でやった方が一番重要な交流ももっと深めることができるのではないのかとおもいました。



→ 白目むいている梨木さんと森町・三浦さん



☆門間 恵理子☆

○文化交流○

前回の夏期交の構成詩よりも、内容が濃く劇にしたりとわかりやすかった。

石狩地本の構成詩では、職員検診で血液検査がないということで、何回も要求を重ね勝ち取ったことが凄いと思った。しっかりとした根拠を用意し、何度も要求していくことが、権利を勝ち取るためには必要なのだと思った。

○基調講演○

松上氏の話が印象的だった。アベノミクスについて、私たち庶民には景気回復の実感はなく、もともと良い印象が無かったが、講演を聞き、日本の将来がもっと心配になった。

ミニバブルを起こす危険性や、物価は上がって賃金は上がらず、悪循環になってしまう…。

憲法改正については、あまり内容を分かっておらず、どちらかという賛成派だった。

最近では、韓国の竹島や中国の尖閣の問題もあるし、もっと日本も強い姿勢で行くべきだと思っていた。だが、「緊急事態宣言」の新設など、反対する者は弾圧できる体制ができたりと、戦争しやすい環境になるというか、危険な道に進んでいるような気がした。

終わりに、松上氏の講演では今まで知らなかった、自民の本当の狙いなどが聞けて、勉強になった。民主の雇用を安定し、賃金を上げていく考えの方が確かに良いと思う。

ただ、あまりにも自民の批判が多く、考えが偏りすぎているように思えた。民主にも自民にも、良いところ、悪いところがあると思うので、もう少し中立的な、客観的な話が聞けたら、自分の中での政治に対する判断材料になったかなと思う。

何が正しく、何が間違っているのか、今の情報社会では見極めが難しいと思う。物事の本質を見極めることは難しいけど、「政治に無関心でも無関係ではられない」から、これからも、色々な話を聞き、周りに流されず、自分の考えをしっかりと持って行きたいと思った。

○分散会○

同じ職種ということもあり、共感できる部分も多かった。

どこの市町村も年々職員が減らされており、来年度の採用数も退職者より少なく人員不足や人員配置に不安があるようだ。また、それぞれの町で休暇制度が異なっていることもあり勉強になった。ただ職種柄なのかあまり盛り上がらなかったのが少し残念…。

～最後に～

夏期交を振り返り、前回とは違い事前学習をして夏期交に臨めたことはとても良かったと思う。今回は初めての施設開催ということで、消灯時間など決まりが厳しく、あまり交流できなかったように感じた。私たちも大人だし、わざわざ休日を使って集会に参加しているのだから、もっと楽しみたいし、ある程度の自由が認められる場所で開催できたら、もっと有意義なものになると思った。

今回、学習したことを今後の組合活動や仕事に生かしていければと思う。

● あ と が き ●

夏期交流集会に参加された皆様お疲れ様でした。私も2年前に夏期交流集会に参加しましたが、一番の思いでは梅酒をイッキして潰れたことです。門間さんも梅酒をイッキしてましたけど、平然としてました。やっぱり、門間さんってスゴイんです。真面目な話をすると、夏期交流集会で参考になったことは、職種別分散会です。分散会って何？って方もいると思います。分散会とは、数人で集まり自分の業務や職場環境について話し合う会です。役場の中にいただけでは、中々同年代の同じ業務をしている人と知り合うことは出来ないと思います。しかし、職種別分散会では、いとも簡単に同年代の同じ業務をしている人と知り合えるのです。同じ業務だから・同年代だから、抱えている悩みが共通だったり、共感し合えることがあったり、逆に同じ業務でも違うやり方をしていたりと、勉強になることが多くあります。日数的には3日間ありちょっと長い様な気もしますが、参加すると自分のプラスになるとが多いと思います。この夏期交流集会は、各地本でローテーションで行い2年後は渡島で開催されます。みんな、参加してくれると嬉しいな…。